



# 釧路川水系景観ガイドライン

令和8年3月

北海道開発局 釧路開発建設部







## 釧路川水系景観ガイドライン

|    |              |    |
|----|--------------|----|
| 01 | ガイドラインの目的・経緯 | 1  |
| 02 | ガイドラインの対象施設  | 3  |
| 03 | 色彩の規定        | 9  |
| 04 | ガイドラインの適用    | 15 |
| 05 | 配色パターン図      | 17 |

## 01. ガイドラインの目的・経緯

### ■目的

釧路川流域の魅力的な景観づくりを目指し、河川景観の質的向上を目的とし、関係機関が連携して調和のとれた景観形成を推進するために本ガイドラインを策定する。

### ■経緯

#### 釧路地方の河川景観の維持保全・創出を重視

「釧路川水系河川整備基本方針」は、釧路川の流域において、洪水対策や河川環境の保全、地域の安全・利便性の向上を目的として策定された長期的な整備方針を示す計画である。このうち、河川景観については、上流域には阿寒山系や釧路湿原など、雄大な自然と豊かな湿原景観が広がり、川沿いには原生林や季節ごとに表情を変える草原が見られる。中流域から下流域にかけては、広大な湿原や蛇行する川筋、そして周辺に広がる牧草地や林地が織りなす、自然と人の営みが調和した北海道ならではの景観が広がっている。

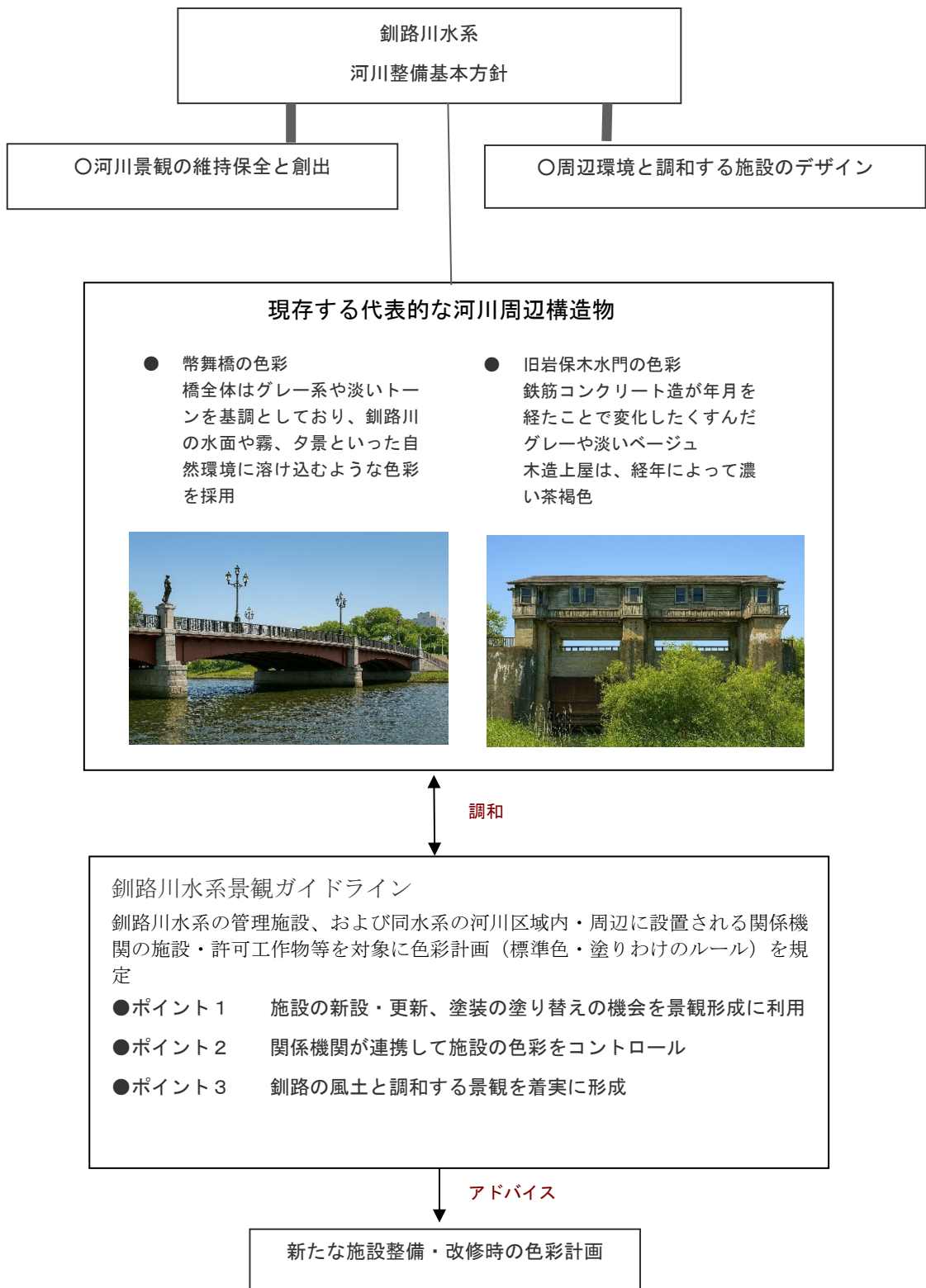
河口付近の広大な湿地帯の広がる自然環境を保全し、地域固有の景観として未来へ継承することにも重点をおいており、河川景観の構成要素となる水門や橋梁等の構造物のデザインの形状や色合いなどについては、周囲の景観と調和することを重視している。

#### 釧路川周辺施設との調和の必要性

釧路川中流域に位置している旧岩保木水門は土木遺産に指定され、上屋は切妻屋根の木造建築で、周囲の釧路湿原の草原や低木と調和するような素朴で温かみのある色調が採用されている。また、水門本体は鉄筋コンクリート構造の重厚感があり、堅牢さと歴史的重厚感を演出している。これらの歴史的な構造物と新たに整備される施設との調和が釧路川周辺の美しい景観を守るうえでは不可欠であり、風景を引き立てる色調での統一感のある整備が必要である。

#### 水系全体で連携して実現

釧路川水系景観ガイドラインは、美しい釧路川流域の創出を河川環境から実現するべく、現存する水門や橋梁と調和のとれた計画とし、今後、新たに整備・更新する際の指標として釧路管内の河川全体の施設において各施設の管理者と連携して実施することにより、景観の向上を図るものである。



## 02 ガイドラインの対象施設

本ガイドラインは北海道開発局釧路開発建設部が所管する釧路管内の 1 級水系の管理施設、および河川区域内・周辺に設置される関係機関の施設・許可工作物等を対象とする。

対象となる施設は以下の通り：

- ・水門・樋門・樋管
- ・水文観測所
- ・橋梁（道路橋）
- ・それらの付属施設等

なお、景観的影響が大きい施設（例：大規模な河川管理施設やランドマーク的な橋梁など）については、本ガイドラインに示す色彩規定を適用することができるが、個別の景観条件やコスト条件、地域性を踏まえた検討を推奨する。

また、法定協議により所管機関から協議（指摘）が示された場合には、個別の景観条件を優先的に検討することを推奨する。

■対象施設 樋門・樋門上屋等



昭和樋門



愛国樋門上屋



雪裡樋門



下オンベツ樋門上屋



五十石樋門



ルラン樋門上屋



古屋樋門



富士樋門

■対象施設 樋管・水門・橋梁等



標茶終末処理場放流樋管



岩保木水門



旧岩保木水門



釧路大橋



南弟子屈橋



万翠橋



喜水橋



下トウ別橋

■対象施設 CCTV カメラ・照明・標識支柱等



太陽光発電設備支柱



警報設備支柱



警告灯支柱



手摺



看板支柱

## ■ 釧路川水系の景観特性（色彩環境）

釧路川水系景観ガイドラインでは、以下の地域特性を踏まえて河川管理施設および周辺施設の色彩計画を規定する。

### 季節ごとに移ろう自然の表情

河川施設がおかれる周辺環境には、緑が芽吹き、繁り、紅葉し、枯れ、半年は雪に被われるという色彩環境のサイクルがある。これは樹林地・農耕地・草地・湿地という植生の違いはあっても、上流から下流まで共通する。

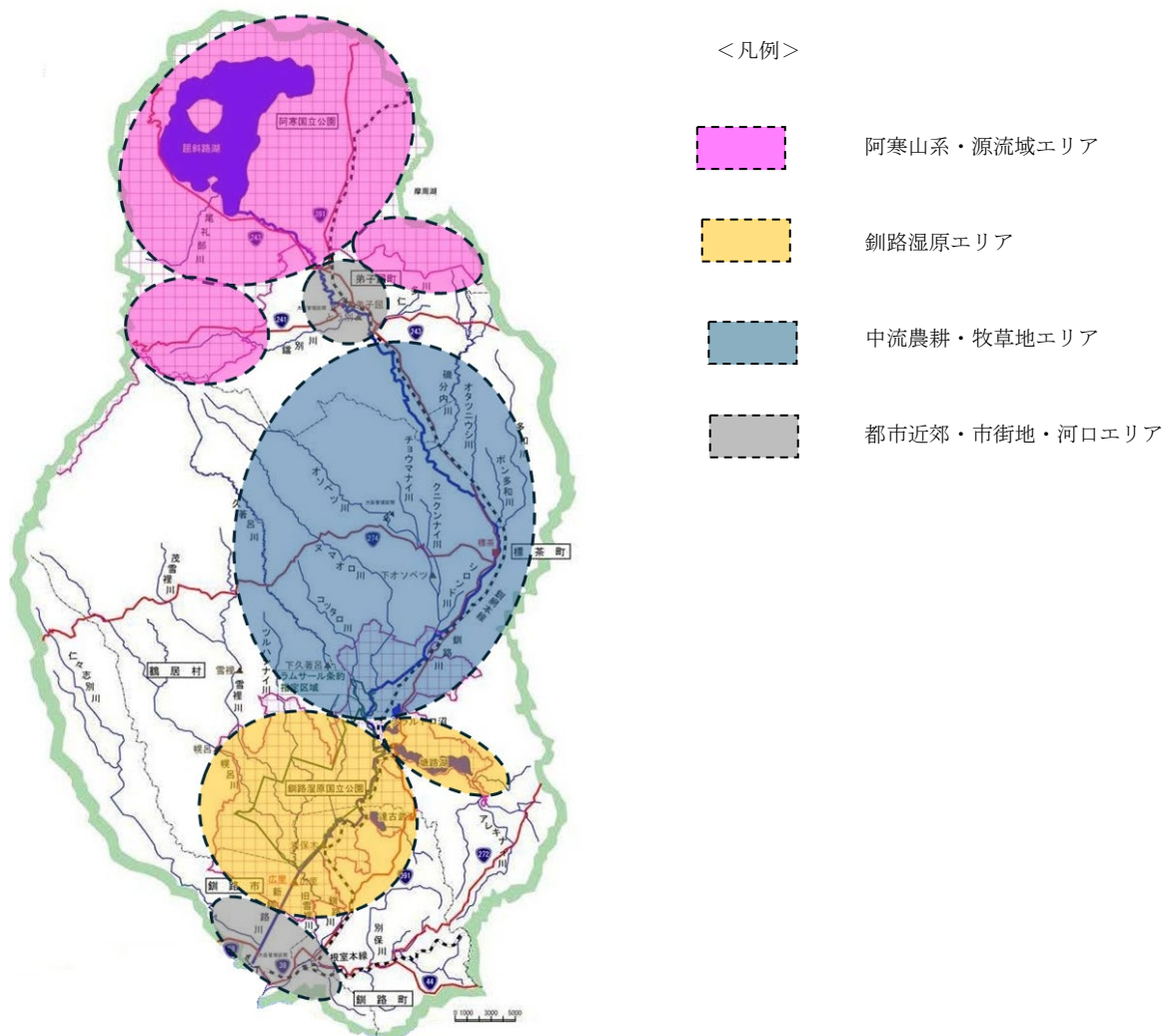
### 釧路らしさを印象づける湿原と草原

釧路川流域では、釧路湿原を中心とした広大な草原やヨシ原が広がっており、季節ごとの植物の色が風景の基調を形成している。特に、ヨシやスゲ類の黄系の色彩は、釧路ならではの風景を特徴づけ、地域の自然と調和した景観をつくっている。

### 北国特有の色彩感覚

釧路は北緯 43 度前後の高緯度地帯に位置し、海霧に包まれる夏や澄んだ空気の冬など、季節と気候が色彩の印象に大きく影響する。低彩度色は霧の中でも自然に馴染み、明度の高い色は冬の空間に映える。空と地面の色の対比や光環境を考慮し、静かな風景に調和しつつ機能性も確保できる色彩設計が求められる。

釧路川水系では、地域の特色により 4 つのエリアに分類した。以下に 4 つのエリアの位置と特色を示す。



## 阿寒山系・源流域エリア

釧路川の源流部に位置する阿寒山系は、標高の高い山岳地形と深い谷地形が広がり、エゾマツやトドマツなどの針葉樹林に覆われた原生的な森林が特徴である。溪流や谷筋が織りなす静寂で荘厳な景観が広がり、自然との調和を重視した施設整備が求められる。



## 釧路湿原エリア

釧路湿原を中心とする中流域は、広大なヨシ原や草草が広がる平坦な地形で構成されており、国内最大級の湿原景観を形成している。春の新緑、夏の青々とした草原、秋の黄金色のヨシ原、冬の雪景色といった四季の移ろいが風景に豊かな表情を与える。



## 中流農耕・牧草地エリア

釧路湿原の周辺には、緩やかな丘陵と草草が広がる地域が形成されており、季節によって変化する植生が穏やかで開放的な景観を生み出している。防風林や草原の色彩が風景にアクセントを加え、周辺環境と調和した施設整備が望まれる。



## 都市近郊・市街地・河口エリア

釧路市街地を中心とする都市河川ブロックは、釧路川が市街地を貫流するエリアであり、幣舞橋などの歴史的構造物が存在する。平坦な地形の中に都市機能と河川が交差し、建築物と水辺環境が融合した景観が形成されている。グレー系や低彩度色による落ち着いた色彩設計が求められる。



## 03 色彩の規定






### ■使用する塗装色：釧路湿原系カラー

対象施設に共通で使用される塗装色は下記の5色とする。

ぬさまいレッド（色相：R）は、世界三大夕日といわれる釧路の美しい夕日を彷彿させる赤系の色彩である。釧路湿原や周囲の植物の緑とも調和し、生命力あふれる赤系の色彩は、施設のアクセントカラーとして立体感生み出す効果が期待できる。緑色（色相：GY）のしつげんグリーンを組み合わせることで、釧路湿原の四季折々を連想させる自然豊かな色調となる。

加えてこの地域ならではの釧路川の水辺や釧路湿原を一面に覆うヨシを想起させる、やちぼうズイエロー（色相 Y）を選定した。日本の原風景を形づくっている、この地域の特徴的な風景と共生できる色彩であり、情緒的な価値を高めるねらいである。いずれも土木構造物にふさわしい人工物として目立つことのない色彩である。また、季節毎に変化する自然の美しさを強調させ、自然風景の多様性にも調和することが期待される。

これらの色を引き立たせ、周囲の風景に馴染みの良いピートブラウン、カルデラグレー（色相 Y）をあわせて使用する。

|  | レッド   | グリーン  | イエロー   | ブラウン  | グレー   |
|--|---|---|--|---|---|
| 名称   | ぬさまいレッド   | しつげんグリーン  | やちぼうズイエロー  | ピートブラウン   | カルデラグレー   |
|  |  |  |  |  |  |
| 日塗工番号<br>財団法人日本塗料工業会<br>塗料用標準色番号<br>(2021年版) | L09-30H   | L39-50H   | L22-80F  | L25-40B   | L25-80A   |
| マンセル値  | 10R 3/4   | 10GY 5/4  | 2.5Y 8/3   | 5Y4/1   | 5Y8/0.5   |

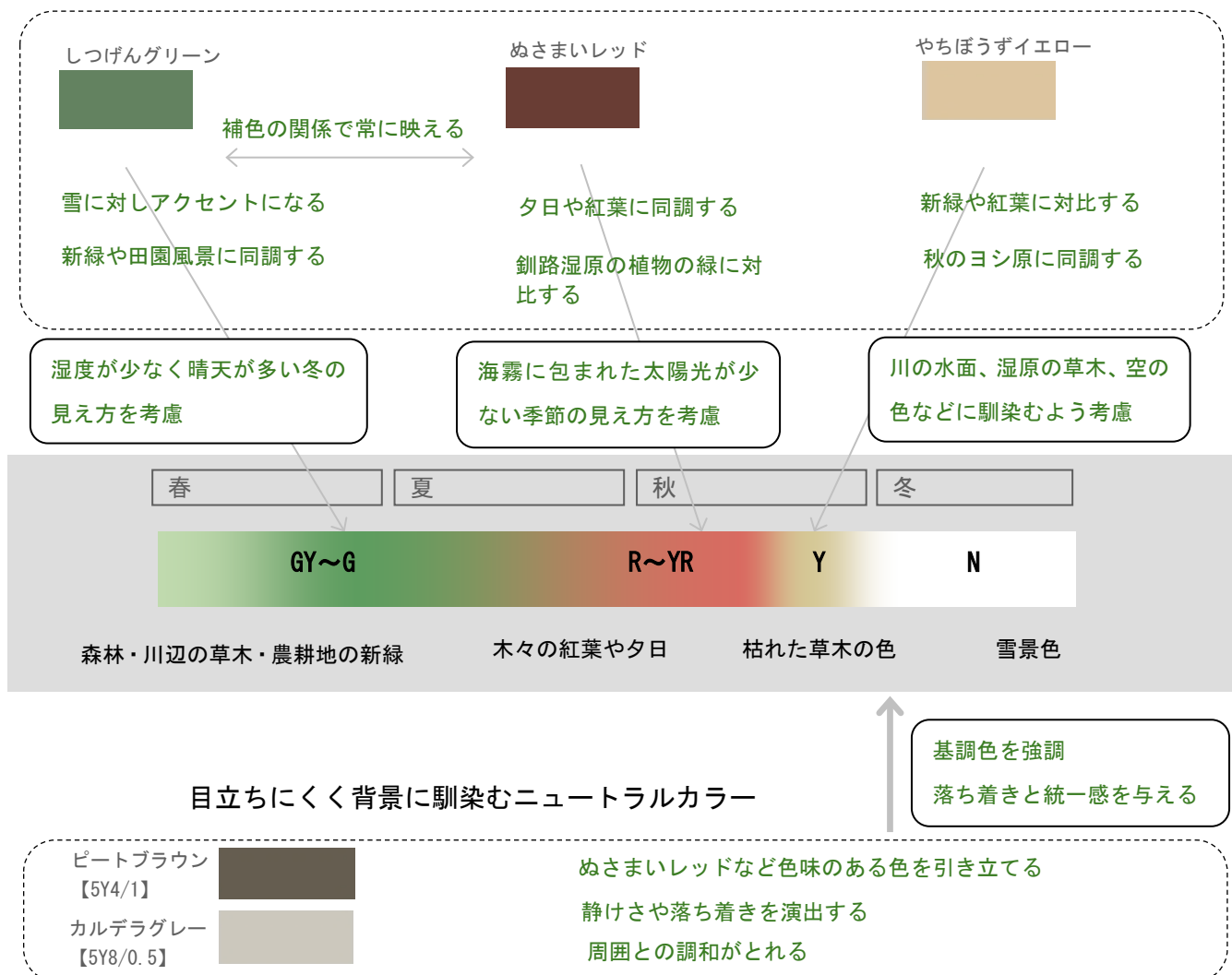
## ■ 釧路湿原系カラーのねらい：釧路の風土を考慮した塗装色

釧路湿原系カラーは釧路川周辺環境の調和と統一感を演出する役割を果たす。

「しつげんグリーン、ぬさまいレッド、やちぼうずイエロー」と名づけた3色は、いずれも釧路川周辺の暖かい気流と冷たい海水温がもたらす「海霧」に包まれた冷夏の夏や、冬場の湿度の低い晴天が多い気候のもとで映える低彩度色である。釧路川や釧路湿原周辺環境には、春は新緑、夏は青々とした草原、秋は黄金色のヨシ原、冬は雪に覆われた静寂の世界と、四季折々の表情があり、風景の基調となっている。しつげんグリーン、ぬさまいレッド、やちぼうずイエローの3色は、周辺の環境と、同調し、色のバランスがとれていることにより環境や施設の存在をより洗練されたものとしします。

「ぬさまいレッド」「やちぼうずイエロー」は、もとは幣舞橋の桁や高欄に選定された塗装色である。現幣舞橋では「やちぼうずイエロー」から「ピートブラウン」へと時代の流れと共に塗装色の変更されているが、「やちぼうずイエロー」や「しつげんグリーン」は、釧路川周辺に広がる釧路湿原の風景を印象づけている季節ごとの植物の色の要素と歩調を合わせた形となる。

### 釧路川水系の上流から下流まで共通する、風景の基調色



## ■色彩計画の原則

施設の各部の塗りわけのルールを以下に示す。

### 原則①

**機能を示す部位や意匠的価値を高める目的の部分は目立たせる**

「ぬさまいレッド」「しつげんグリーン」「やちぼうザイエロー」は色味を感じる塗装色である。強調色としてゲートなど施設の機能を示す部位・可動部に適用し、施設全体において相対的に目立たせる。

### 原則②

**圧迫感を与える広い面積の部位や付属的役割の部分は抑える**

「ピートブラウン」、「カルデラグレー」は、周囲の風景に溶け込み、「ぬさまいレッド」等の部位を引き立てる塗装色である。施設として圧迫感を与えることなく、風景に溶け込むことを目的とした部位に適用し、施設全体において相対的に存在感を抑える。

### 原則③

**組み合わせで施設全体に統一感とコントラストを**

彩度の近い「ぬさまいレッド」と「しつげんグリーン」「やちぼうザイエロー」の3色はそれぞれの色同士がなじみやすく統一感があり、全体としてまとまりのある印象になる。

明度差が3.0以上ある「濃い色」と「薄い色」を組み合わせると塗り分けると、施設全体の構成・立体感を強調し、空間に奥行きを与える。

例えば、濃い色にあたる「ぬさまいレッド」「しつげんグリーン」と薄い色にあたる「やちぼうザイエロー」の2色をならべると、明度の差が3.0あり、輪郭や形がはっきりと見えるようになり視認性が向上する。「ぬさまいレッド」と「カルデラグレー」の組み合わせでは明度差5.0、「やちぼうザイエロー」と「ピートブラウン」では、明度差4.0である。

原則①

施設の機能部分は色で強調し、相対的に目立たせる



原則②

付属的な部位は、相対的に存在感を抑える



原則③

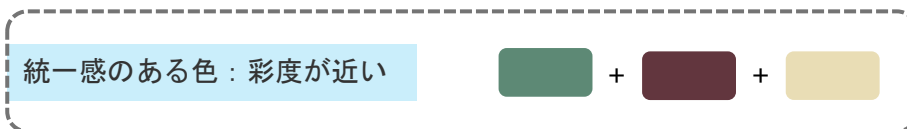
「濃い色」と「薄い色」の組み合わせで施設全体にコントラスト  
彩度の近い組み合わせで統一感



+



メリハリのある見え方に



一体感のある見え方に

## ■各施設・付属物の色彩規定

釧路川水系における対象施設・付属物の色彩は下記の通りとする。

### <ゲート>

- ・ゲートの色彩は「ぬさまいレッド」または「しつげんグリーン」とする。形状によって、可動部が明確になるように、補色の関係であるこの2色で塗り分ける。
- ・中流農耕・牧草地エリアでは、ゲートの色彩は「やちぼうザイエロー」とすることができる。形状によって、可動部がより明確になるように、「ぬさまいレッド」または「しつげんグリーン」、「ピートブラウン」と組み合わせる。

### <上屋・建築物>

- ・屋根の色彩は「ピートブラウン」または「ぬさまいレッド」とする。
- ・外壁は「カルデラグレー」、「ぬさまいレッド」、「やちぼうザイエロー」とする。開口部が少なく塗装面積が大きい場合は、圧迫感がないよう周辺環境への影響も考慮する。扉、シャッターなどの開口部（窓を除く）の色彩は「ピートブラウン」または「カルデラグレー」、「ぬさまいレッド」とする。

### <支柱類（カメラ・照明・標識等）>

- ・支柱類の色彩は「ピートブラウン」とする。ただし、非塗装の場合は「亜鉛めっき」または「金属素地」とする。

### <防護柵類>

- ・防護柵・門扉等の色彩は、「ピートブラウン」とする。ただし、非塗装の場合は「亜鉛めっき」または「金属素地」とする。

### <橋梁>

- ・橋梁は、桁部を「ぬさまいレッド」または「しつげんグリーン」を基本とし、構造部材に合った色彩とする。防護柵類を「ピートブラウン」または「しつげんグリーン」、「ぬさまいレッド」とする。ただし、防護柵が非塗装の場合は「亜鉛めっき」または「金属素地」とする。

## ■色彩の基礎知識（マンセル値）

色彩は「赤」「青」などの名称では曖昧であり、客観的に色を特定するにはマンセル値を使うことが一般的である。

### <マンセル値の3要素>

色相 (Hue) : 色の種類。R (赤)、Y (黄)、G (緑)、B (青)、P (紫) など。組み合わせで YR (黄赤=オレンジ)、BG (青緑) などを表す。これらを円形に並べたものが「色相環」

明度 (Value) : 色の明るさ。数値が高いほど白っぽく、低いほど黒っぽい

彩度 (Chroma) : 色の鮮やかさ。数値が高いほど鮮やか、低いとくすみ、ゼロでグレー (無彩色)

### <マンセル値の表記法>

書式 : 色相 明度/彩度

例 : 10YR7/14 → 黄赤系、明るく鮮やか

例 : 10YR6/1 → 同じ色相でも暗くくすんだ色

無彩色は N9 (白に近い)、N3 (黒に近い) などで表記

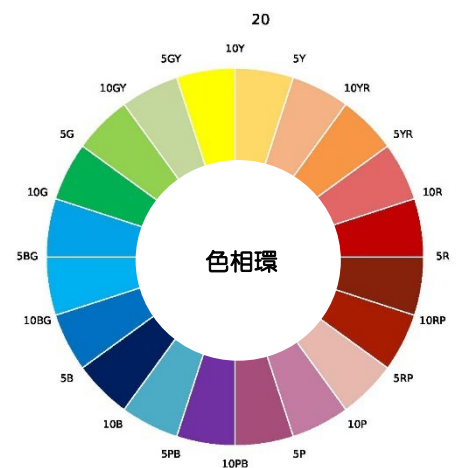
### <色相 (Hue) >

色の種類を示す要素。

基本記号は R (赤)、Y (黄)、G (緑)、B (青)、P (紫) の5つで表す

基本色をさらに細かく分け、間の色を表すために組み合わせる

組み合わせ例 : YR (黄赤=オレンジ)、BG (青緑) など  
色相を円環状に並べたものを「色相環」という (右図)



### <明度 (Value) >

色の明るさを示す要素

数値が高いほど白っぽく、低いほど黒っぽい

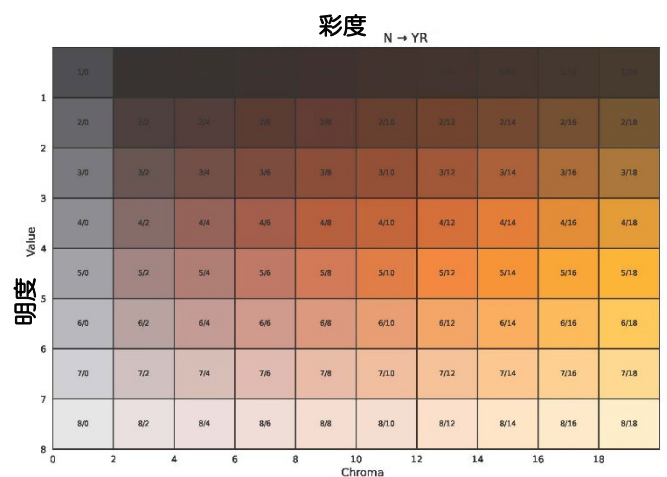
縦方向の変化で表現

### <彩度 (Chroma) >

色の鮮やかさを示す要素

数値が高いほど鮮やか、低いとくすみ、ゼロでグレー (無彩色)

横方向の変化で表現



## 04 ガイドラインの適用

本ガイドラインは、管理施設の新設・更新、塗装の塗り替えの際に適用する。

本ガイドラインを用いた色彩を決定する手順は以下に示す

### ■施設各部の塗装色の決定

- ・ 対象施設の位置するエリアを確認
- ・ 機能に応じて強調・抑制すべき部位を判断
- ・ 類型ごとの配色パターンに基づき塗装色と塗り分け方法を選定

### ■塗装の実施

- ・ 色番号（日本塗料工業会標準色）で指示
- ・ 色見本を提示し、仕上がりイメージの確認

※各施設における視認性が求められるものについては、背景と文字等の明度差を 5 以上とることが望ましい。

## ■ガイドラインを適用した塗装手順

### 1. 対象施設のエリア分類を確認

例：施設が「中流農耕・牧草地エリア」に位置し、周囲は開放的な地形であることを把握する



周辺環境を確認

### 2. 機能に応じた塗装対象の優先度を整理

- ・ゲート部分は洪水時に閉鎖して堤内地への水の侵入を防ぐ重要な役割を持つため、視認性を高める色で強調する
- ・上屋や防護柵などの構造物は、周囲の景観に溶け込むように控えめな色調で塗装する
- ・機能性やコスト妥当性により色彩を検討する



施設の目的を把握

### 3. 色の選定と塗り分けの方針

- ゲート：アクセントカラーとして「ぬさまいレッド」または「しつげんグリーン」を使用  
※ゲートが塗装に適しない材質の時は金属素地とする
- 上屋屋根：落ち着いた印象を与える「ピートブラウン」「ぬさまいレッド」
- 壁面：明るく控えめな「カルデラグレー」「やちぼうずイエロー」落ち着いたきのある「ぬさまいレッド」
- 防護柵：基本的に「ピートブラウン」で統一
- ※更新時は既存の雰囲気をも損なわないよう配慮する






最終イメージを確認

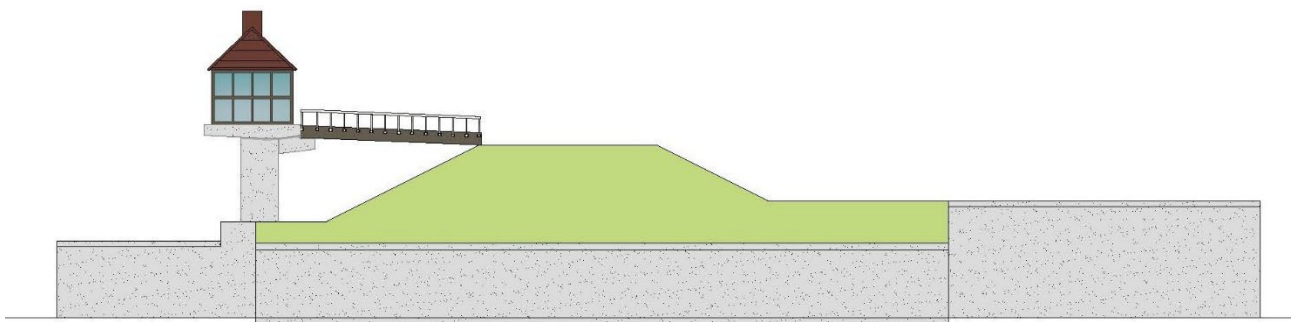
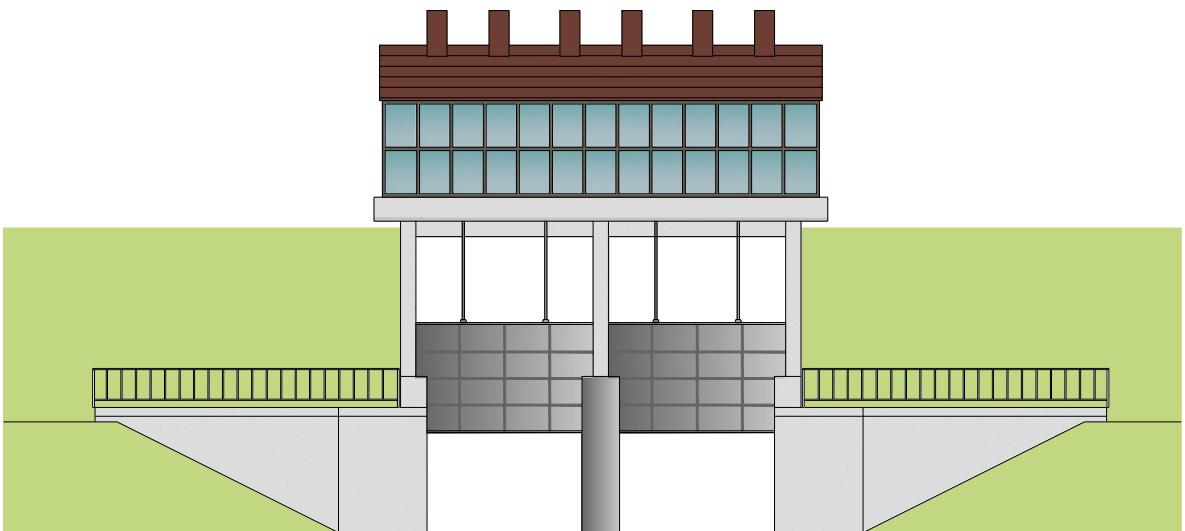
### 4. 実際の塗装作業

- ・各部位の色は、日本塗料工業会の標準色番号を用いて明確に指定する
- ・色見本（サンプル）を提示することで、完成後のイメージを事前に確認できるようにする
- ・塗装面積による明度の影響についても考慮して計画する

## 05 配色パターン図

### ■昭和樋門 パターン1

-  ぬさまいレッド：屋根
-  金属素地：樋門
-  ピートブラウン：建具、手摺



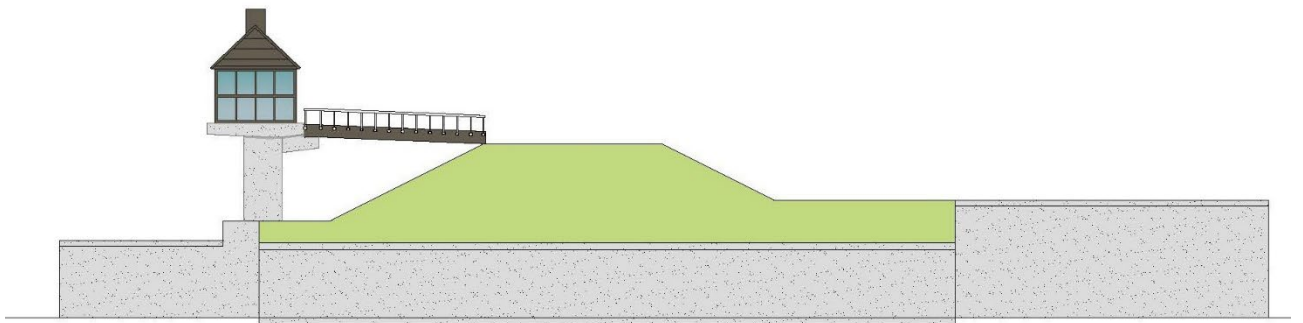
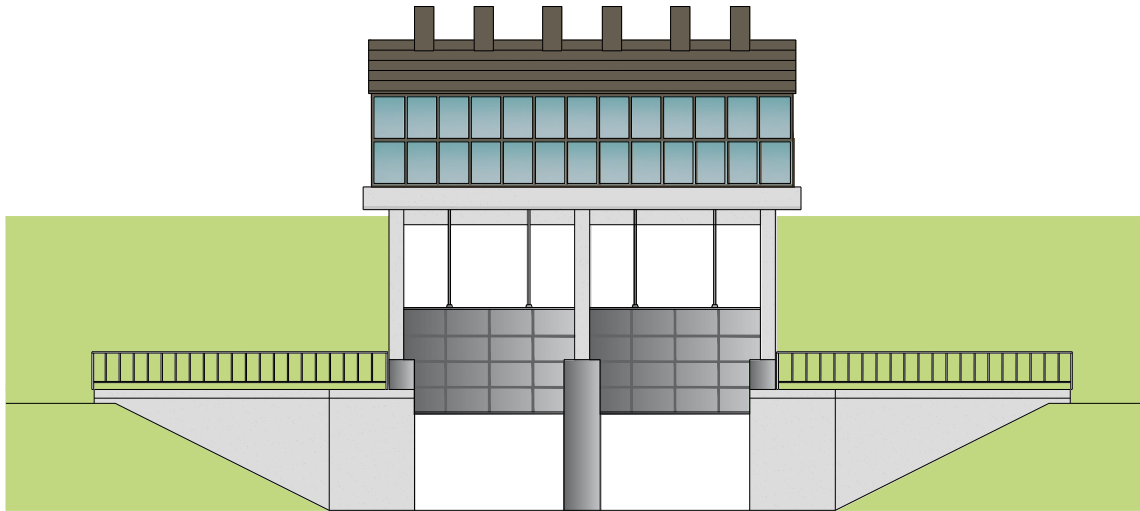
## ■昭和樋門 パターン2






金属素地：樋門

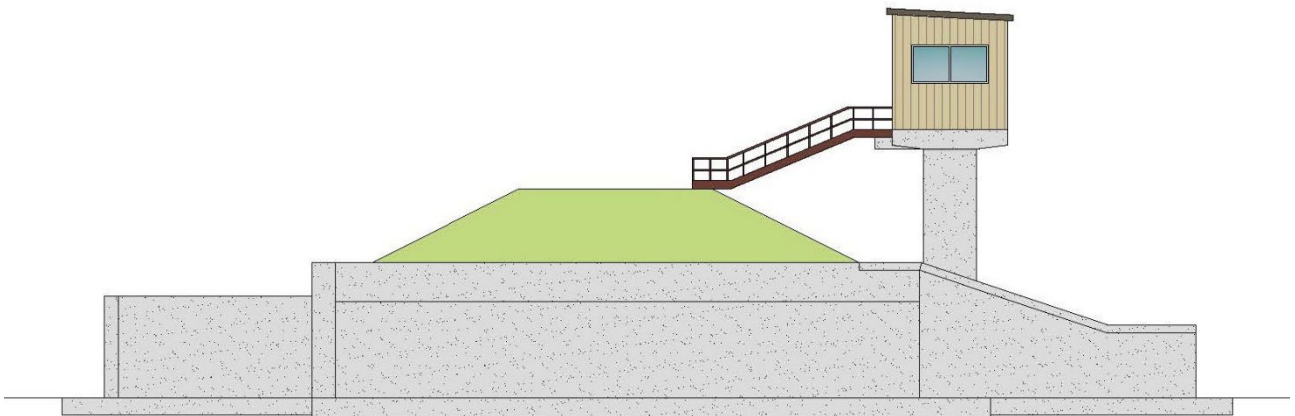


ピートブラウン：屋根、建具、手摺






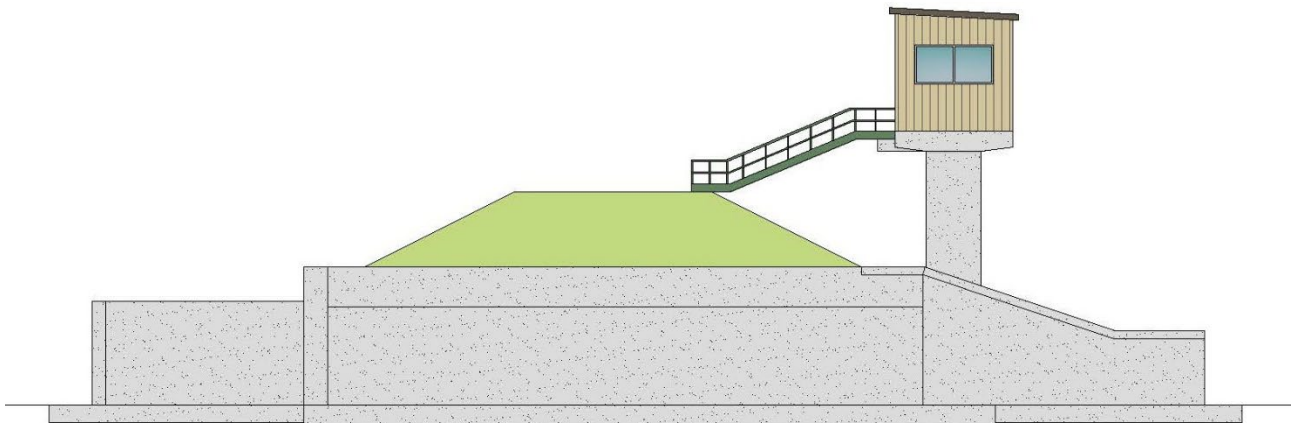
## ■富士樋門 パターン1

-  めさまいレッド：樋門
-  やちぼうざイエロー：外壁
-  ピートブラウン：屋根、建具、手摺






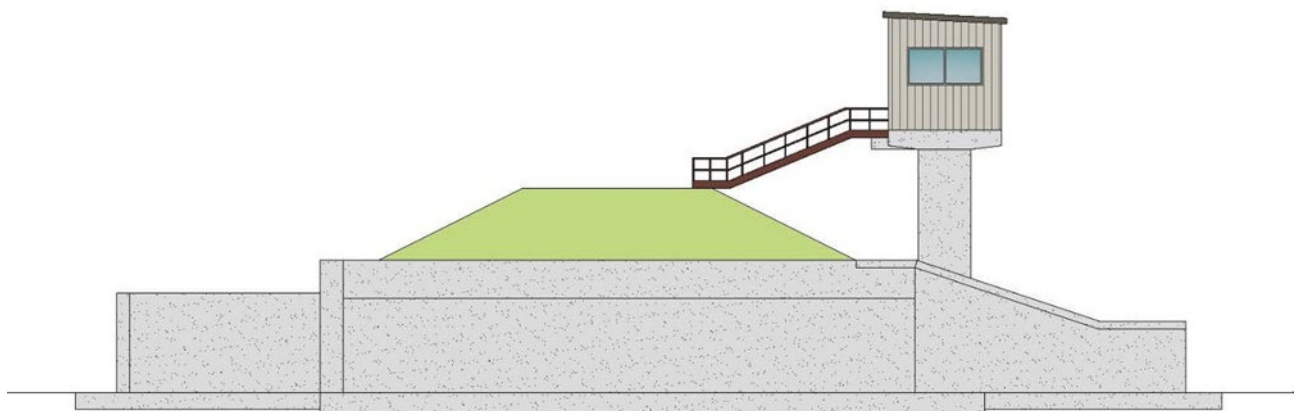
## ■富士樋門 パターン2

-  しつげんグリーン：樋門
-  やちぼうザイエロー：外壁
-  ピートブラウン：屋根、建具、手摺






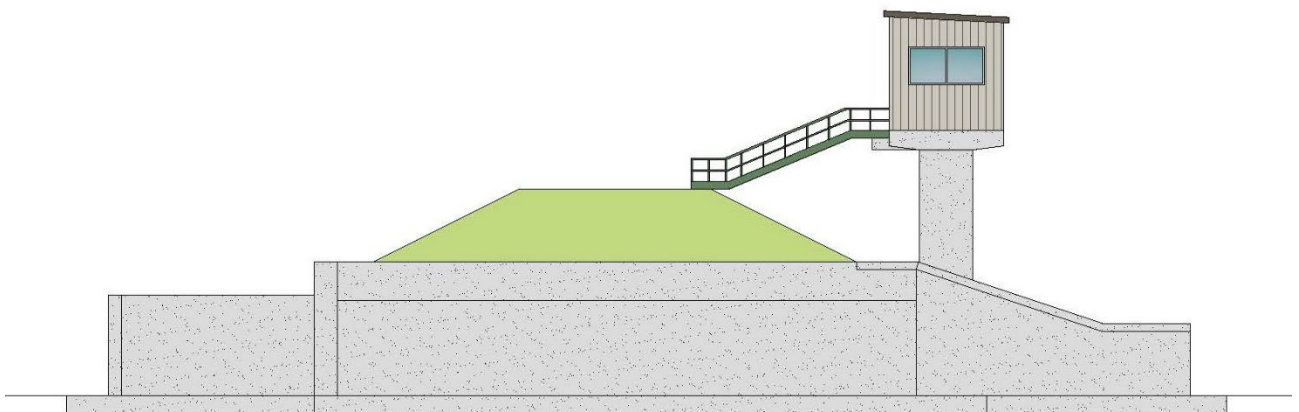
### ■富士樋門 パターン3

-  ぬさまいレッド：樋門
-  カルデラグレー：外壁
-  ピートブラウン：屋根、建具、手摺





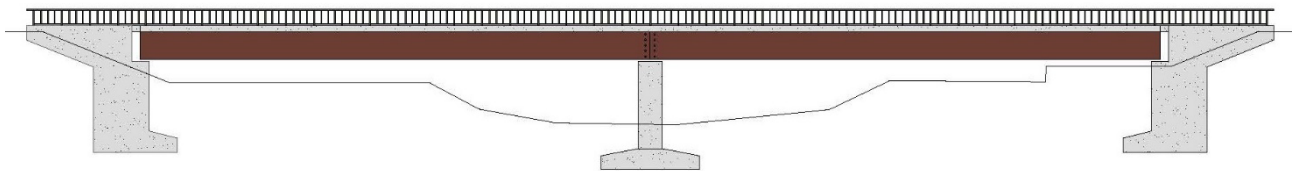
## ■富士樋門 パターン4

-  しつげんグリーン：樋門
-  カルデラグレー：外壁
-  ピートブラウン：屋根、建具、手摺





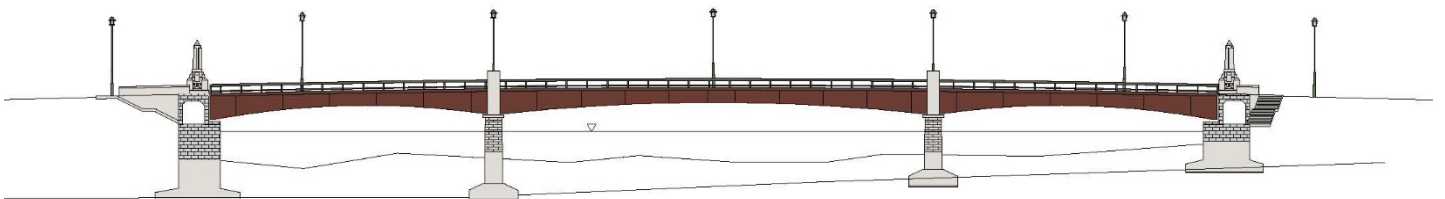
■ 橋梁（例）

-  ぬさまいレッド：橋桁
-  ピートブラウン：高欄



■ 幣舞橋（参考例）

-  ぬさまいレッド：橋桁
-  ピートブラウン：高欄





北海道開発局

北海道開発局 釧路開発建設部 治水課

〒085-8551 釧路市幸町10丁目3番地 TEL:0154-24-7250

2026年3月